

# 西中だより

山崎西中学校  
通信部  
校訓

光る顔(徳育)	光る目(知育)	光る汗(体育)
---------	---------	---------

## 「輝心結束 ～受け継ぐ伝統進め未来へ～」

生徒会が主役となって

生徒指導担当

田中 慎吾



盛夏の候、地域の皆様におかれましては、お元気で過ごしていることと思います。

平素は、本校の教育活動に温かいご支援と、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度は、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校により、いつもとは違った一学期となりました。生徒たちからは、今までの「当たり前」を見つめ直したり、現状を受け入れたり、上手に順応したりする姿が見られ感心させられました。

先日行った生徒アンケートの結果からは、『安心して学校生活を送れている』という解答が多く、少しほっとしました。しかし、中にはストレスを感じながら学校生活を送っている生徒もいます。生徒の様子をよく見ながら、心のケアをしていきます。

さて、明日から短い夏休みが始まります。メリハリのある楽しい時間を過ごし、力をつける土台づくりのために守るべきルールを紹介します。

### 【外出について】

ここ近年、子どもが事件に巻き込まれるケースが日本各地で発生しています。事件

※特に事情のある場合の外出は、保護者の責任において行う。

※外泊：友人宅への外泊は禁止する。

※飲食店、カラオケハウス、映画館、ゲームセンターへの出入りについては、保護者同伴の場合がよいが、生徒だけの出入りは禁止。  
(条例で禁止されている)

※イオンのゲームコーナーは保護者同伴が望ましい。(保護者の責任のもと判断)  
(午後六時以降の中学生の出入りは、条例で禁止されている)

※生徒だけの打ち上げや誕生日会等は禁止。(保護者の責任のもと判断)

□自転車での乗り方などの交通ルールを遵守して、交通事故を防止する。  
※外出時の自転車利用では、一列走行、ヘルメット着用、左側通行、歩道での歩行者優先を守る。

### 【SNSについて】

携帯電話やインターネットを利用する生徒はとも多く、中には小学生の時から所持している生徒もいるほどです。

※通塾は保護者の責任のもとで行うが、遅くなる場合は特に安全に気をつける。家庭との連絡を確実に行う。  
□校区外への外出：生徒のみの外出は原則として禁止する。  
※生徒だけの遊園地・近所等への外出は禁止。

インターネットを含めたSNSの利用について、学校でも利用の際のマナーやモラル、個人情報流出、人権侵害などの面からも指導はしておりますが、各家庭でもスマートフォン、タブレット等の使用について十分に話し合ってください。その際に、動画「ティールと学ば」正しく怖がるインターネット」などを参考にしてみてください。

生徒指導において、教師の指導だけに頼ると、生徒は窮屈な思いをします。そこで生徒会活動の取組の中で生徒が主体的に考えて取り組む要素を多くし、生徒たちの主体性を大事にしていきたいと考えています。

また、西中生徒を取り巻く様々な課題を解決しながら、心豊かでたくましい生徒の育成には、学校・家庭・地域社会との連携・協力なしには成し得ません。

保護者・地域の皆様には、本校の学校教育に対し、今後もご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

## 今後の予定



- 8月 7日(金) 一学期終業式
- 8日～16日(土～日) 夏季休業
- 12日～14日(水～金) 学校施設閉鎖日
- 17日(月) 二学期始業式
- 19日～21日(水～金) 全校三者面談
- 20日(木) PTA代表理事会
- 24日(月) 給食開始

# 学習のまとめに向けて

学習指導担当

宮崎 智也

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、新学期が始まってすぐに臨時休業となりました。六月の学校再開後も過去に経験したことのないような生活が続き、保護者、生徒のみなさんも大変だった一学期となったと思います。

学校が再開されてからも臨時休業前のように友だちと話し合っって意見を交わすなどの変化はありながらも一時間の授業を大切にしている様子が見られました。今後も教師と生徒が共に工夫を重ねながら授業を進めていきたいと思っています。

長期の臨時休業日に伴い、夏休みの期間も九日間と大変短くなっています。八月十七日には二学期がスタートし、授業が始まる予定となっています。

本来、夏休みは、普段の学校生活ではできない幅広い体験をしたり、自分の興味や関心のあることに打ち込んだりする絶好の機会です。さらに、学習の振り返りや、まとめを行うよい機会でもありました。

特に三年生の皆さんにとっては、この夏休みの過ごし方が自分の進路に大きく影響してくることは言うまでもありません。

自分の自由にできる時間を計画的に、そして有意義に使い、課題をこなすだけでなく、不得意教科の克服に取り組んだり、興味関心のある学習内容についてより深い学習をおこなったりして、自らの力を高めていき

ましよう。

今年度は、いつもの夏休みの期間に比べるとそういった学習の時間をつくるのが難しいかもしれません。しかし、普段の授業日より、個人の学習時間を含めた自由な時間を確保しやすくなると思います。この時期に少しでも一学期の学習を振り返り、まとめることにより学習内容を少しでも定着させることができ期間になればと思います。毎年夏休みに伝えていた学習についての留意点を伝えます。一度目を通して、少しでも参考にして、この夏休みや八月の期間を通じて身も心も大きく成長してくれることを願っています。

## 一、家庭学習時間の確保を

### ムリ・ムラのない学習計画を

例年通りであれば、一年生は二時間以上、二年生は三時間以上、三年生は五時間以上の学習時間を生活設計に繰り入れるようにみなさんには伝えてきています。

今年度は、そこまでの時間は取ることができないかもしれませんが、しっかりと家庭学習に取り組みましよう。

計画にあたっては、特別な日は別として、毎日実現可能な計画を立てましよう。欲張った計画や無理、ムラのある計画は、長く続きませんし、成果も期待できません。

学習時間の設定にあたっては、早朝の涼しい時間や、夕方から夜にかけての静かな時間帯を選んで計画ましよう。また、友達とも話しあい、学習時間帯はお互いの家を訪問しないようましよう。家の人にもその計画を見せて協

力してもらましよう。

## 二、一学期の復習に力を入れよう

### 不得意教科の克服を

期末テストの結果は、どうでしたか。自分の得意教科と不得意教科が確認できたと思います。この夏休みは、不得意教科の克服にはよい機会です。一日に少しづつでも、苦手教科の克服に向けて努力することが克服につながります。

また、学習課題として出されている各教科の問題集などを利用して、それを二回、三回繰り返して学習するのも効果的です。

特に三年生の皆さんは、一年生や二年生で理解不足の単元を集中的に学習することで、不得意教科の克服や実力アップにつながると思います。時間を有効に使って、成果の上がる期間になるよう過ごましよう。

## 三、各教科の課題をやり遂げよう

各教科から、課題(別紙参照)が出されます。学習内容を定着させるためにも、一つひとつの課題をしっかりとやり切りましよう。

また、作品の制作や作文の全校共通課題も出されています。締め切りまでの日数を確認して余裕を持って制作に取り組みましよう。提出については、各学年や教科毎に提出する期日が異なりますので、各自でよく確認して、提出できましよう。

## 四、自由学習・読書に取り組みよう

時間に余裕の持てる期間だからこそできる課題に時間をかけて取り組みましよう。自分の興味関心のある学習課題を見つけて、その学習や作品制作にも取り組んでましよう。その過程が今後、皆さんにとって生きていく上で大切な力である『課題を見つめる力』、『企画力』、『問題解決力』などの定着につながると思います。

さらに、読書をするのもお勧めします。感想文を書くためだけでなく、自分の好きな分野や作家の本を読むことで見聞を広めましよう。また、新しい分野の本にも挑戦してみてもいいかもしれません。

私は教師となつて、日々新しいことを学ぶうちに、『学ぶことの楽しさ』に気付くことができました。この楽しさを、中学生などのもっと早いうちに気付けていれば、と何度も思います。新しいことを学ぶ楽しさに一人でも多くの人が気付くことを心より願います。

### 学べば学ぶほど、

### 自分が何も

### 知らなかったことに

### 気づく

### 気づけば気づくほど

### また学びたくなる

アルバート・アインシュタイン  
(ドイツ生まれの理論物理学者  
業績：特殊相対性理論の提唱)